

平成29年度 自己評価表

<p>中長期目標 (学校ビジョン)</p>	<p>社会人として通用する人間を育てる</p>	<p>今年度の 重点目標</p>	<p>①生徒指導の充実:「時を守り、場を清め、礼を正す」 ②「確かな学力」の定着:基礎学力の定着+キャリア教育の充実+自信と誇りの育成 ③地域との連携を推進する</p>
---------------------------	-------------------------	----------------------	--

年度当初					評価結果 (月)		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 生徒指導の充実:「時を守り、場を清め、礼を正す」	(時を守る) ・規則正しい生活習慣が身に付き、毎日を健康に送ることができている。 ・遅刻、欠席がなく、授業の始まる前には準備が整い、意欲を持って学習に臨んでいる。	・多くの生徒は朝食を食べて登校するなど規則正しい生活習慣を維持できている。 ・生活習慣の乱れによる保健室利用は減少した。 ・欠席数は10%以上減少したが、週明けや週半ばの欠席が多い。 ・2学期中途から遅刻が増加したため、登校遅刻(者)数は増加した。 ・始業前の授業準備はほぼできており、授業遅刻も減少した。	・健康や安全に対する意識が高く、規則正しい生活習慣のもとに学校生活を送ることができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より5ポイント向上) ・学校を中心に据えた行動意識が醸成され、学校生活のルールに基づいた学習習慣が定着している。(欠席数・登校遅刻数が昨年度より10%減少) ・授業準備は始業前に整え、授業に意欲的に取り組むことができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より5ポイント向上)	・保健だより等をおして生徒・保護者に規則正しい生活と健康の大切さを啓発する。 ・生徒面談において、必要な生徒に対して生活指導を行う。 ・家庭への連絡を一層充実し、保護者と連携して生活習慣の改善を図る。 ・遅刻の多い生徒に対して、考査ごとに年次で指導を行う。 ・「入室許可書」の取組をもとに意識啓発を行い、授業遅刻のさらなる減少を図る。			
	(場を清める) ・毎日の清掃活動を大切にし、気配りのある行動がとれている。 ・学校内が清潔に保たれ、整理・整頓が行き届いている。	・清掃活動は、職員の指導の下で概ね取り組んでいる。 ・教室内のゴミの分別が不十分である。 ・机の周りや個人ロッカー内の整理・整頓が不十分である。	・美化意識が高く、清掃活動に主体的に取り組んでいる。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が60%以上) ・環境資源に配慮したゴミ分別ができている。 ・身の周りの整理・整頓ができ、学習環境を整える習慣が定着している。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上)	・朝の清掃活動、TEAS活動をおして美化意識を高める。 ・環境教育LHR等、ゴミ分別について定期的に啓発活動を行う。 ・個人ロッカーや私物を整理する時間を定期的に設定する。			
	(礼を正す) ・明るい笑顔で気持ちの良い挨拶ができる。 ・丁寧な言葉遣いと制服の正しい着こなしが保たれている。	・生徒会による挨拶運動の成果がみられ、自発的に挨拶する生徒が増加している。 ・TPOに応じた丁寧な言葉遣いが不十分な生徒がいる。 ・制服着こなしセミナーの効果もあり、大きな服装の乱れは減少した。	・明るく笑顔で相手の顔を見て自発的に挨拶ができる。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上) ・TPOに応じた正しい言葉遣いができている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上) ・規範意識が高く、頭髪服装規程を遵守して制服を正しく着こなししている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上)	・生徒会による挨拶運動を継続する。 ・教職員自ら挨拶を実践するとともに、社会における挨拶の大切さを説いて啓発する。 ・教職員の共通理解のもと、丁寧に毅然とした姿勢での指導を粘り強く継続する。 ・制服着こなしセミナーを年度当初に実施して、身だしなみを整える意識を高める。			
	(場に応じた対応をとる) ・式典等で開始時間までに整列が完了できる。 ・服装を整えて式典に臨むことができる。	・式典や集会の集合は速やかにできている。 ・状況を判断して行動を整えるということについては不十分である。	・TPOを判断し、その「場」に応じた行動ができる。(社会人として通用する行動を身につける) ・集団行動の中で「時間」を意識して、速やかな整列ができる。 ・その場に相応しいフォーマルな制服の着こなしができる。	・全体集合時だけでなく、学校生活のあらゆる場面で「整える」ということを意識させた指導を行う。(教室の机の整頓等も)			
	(基礎学力の定着) ・丁寧な学び直しが行われている。 ・学びに対する満足度が高く、真摯な態度で学習に臨んでいる。	・「基礎力診断テストのDゾーンの人数を10%減少させる」目標は3年次以外は未達成であったが、各年次で基礎学力の向上が見られた。 ・授業評価アンケートにおいて、多くの項目では3.0以上を達成した。 ・すべての年次、すべての調査回で学習力指数が2.5以上となった。	・生徒の学ぶ意欲が向上し、基礎学力の向上・定着がみられる。(基礎力診断テストの各教科のDゾーンの生徒の割合が各年次で年度当初より5ポイント減少) ・生徒の学習に対する満足度が高く、真摯な態度で学習に取り組んでいる。(授業評価アンケートの全項目が3.2以上)	・学力向上プロジェクトを中心に丁寧な学び直しを継続する。 ・ICT活用の研修、授業研究会の実施等、更なる授業改革を進める。 ・生徒との面談をおして生徒理解を進め、学ぶ意欲の向上を図る。自己肯定感を育む。			
2. 「確かな学力」の定着:基礎学力の定着+キャリア教育の充実+自信と誇りの育成	(キャリア教育の充実) ・将来の社会生活や職業を見据えた科目選択と進路決定がなされている。 ・進路に係る教科外活動にも積極的に取り組んでいる。	・多くの生徒が自分の将来や進路について考えているが、目標の実現に向けた方策や行動が不十分である。 ・目標設定に迷い、進路志望が未定のままで学力不振となったり、学習意欲を減退させたりしている生徒もいる。 ・講演会やサマーワークのインターンシップ等、生徒の進路意識高揚につながる取り組みを各年次で実施した。 ・進路学習取り組み度については、2年次生で向上が見られたが、1年次生においては変化がなかった。	・将来の社会生活を見据えた進路目標を見定め、意欲的に努力を積み重ねている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上) ・講演会等進路に係る教科外活動を通じて生徒の進路意識が高まっている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上)	・「産業社会と人間」、「青谷学」、「総合的な学習の時間」、「課題探究」等の科目をおして、生徒自らのキャリアデザインの意識を高揚させる。 ・進路指導部を中心に、生徒の進路探求の方法について再検討し、系統的な指導体制を確立する。 ・進路に係る校外での活動に引き続き積極的に取り組ませる等、進路探求に取り組ませる。			
	(自信と誇りの育成) ・生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。 ・部活動が活発で、活動への意欲が高い。	・生徒会活動や学校行事に意欲的に参加する生徒が増加しつつある。 ・活発に活動し、大会等で上位入賞等の成果をあげた部もあった。 ・生徒減による部員数の減少により、活動の維持、存続が困難な部もある。	・生徒会活動や学校行事において、自主的に活発な取り組みが見られ、生徒個々の参加意識や貢献意欲が高い。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上) ・多くの生徒が部活動に継続的に取り組み、学習との両立に努力し、高い満足と自信と誇りを持っている。(学校評価アンケートで「思う」とする割合が昨年度より10ポイント向上) ・部活動の再編成について、方向性を明示する。	・生徒会活動や学校行事等の様々な場面で生徒に達成感を持たせる。 ・自分を成長させる大切な場として、部活動の意義について啓発し、加入を促進するとともに継続的に取り組ませる。			
3. 地域との連携を推進する	(地域への情報発信) ・学校の特色や生徒の活動などが適宜発信され、保護者、地域の理解度が高い。 ・生徒の校外活動が積極的で、地域からの理解や信頼が厚い。	・PTA広報誌の定期的発行(年4回)に協力し、学校の情報を発信している。 ・学校HPでの速やかな情報発信に努めたが、部活動情報の発信が遅れがちだった。 ・学校行事やPTA総会等、PTA行事への保護者の参加者が少ない。 ・地域行事や地域清掃等のボランティアに多くの生徒が参加した。(延べ77名参加) ・英語の読み聞かせ等、青谷小学校と連携した行事を行った。	・PTA広報誌が定期的に発行されている。 ・学校HPが時宜を逃さずに更新されている。 ・HPで行事や部活動等、学校の特色や魅力が発信されている。 ・HPの閲覧者数が増加し、保護者や地域の方々だけでなく、中学生にも本校に対する関心、理解が高まっている。 ・学校行事やPTA総会等、PTA行事への保護者の参加率が昨年度より向上する。 ・地域行事等にボランティアとして積極的に参加して地域からより大きな期待と信頼を得るとともに、生徒が有用感を実感し自己肯定感を高める。	・PTAと一層連携し、PTA広報誌の内容の充実協力する。 ・教務部を中心に定期的に学校HPを点検して更新が滞らないようにする。 ・授業、行事、部活動などの情報提供を呼びかける。 ・学校HPの更新頻度を上げることで定期的な閲覧者数の確保を図る。 ・HPに行事のお知らせを掲載するとともに、PTA役員による参加呼びかけを行う。 ・ボランティアの情報を提供するだけでなく、ボランティアの意義等について啓発を行い、積極的に参加する生徒を増やす。 ・地域と連携し、生徒が有用感や自己肯定感を実感できるボランティア活動の推進に継続して取り組む。			
	(地域人財の活用) ・社会人講師等による多様な講演や研修が行われている。 ・学校評議員や地域の有識者との意見交換が定期的に行われている。	・社会人講師や地域の有識者による講演等を開催した。 ・学校評議員会等をおして、学校外の方の視点で意見を収集した。	・地域、保護者の方から学校運営へ一層の協力が得られ、学校評議員や地域の有識者と定期的な意見交換を行う。(継続)	・学校評議員や地域人財との一層の連携を進める。 ・地域の人財の情報を収集する。 ・青谷学、地域環境芸術等の地域と密着した授業等をおして地域とのつながりを深める。 ・学校の現状や課題に即した講演会や研修を企画し、外部有識者の活用を一層促進する。			